保証規定

■保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起こりました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1. 保証期間：製品の納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。

2. 保証内容：期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3. 適応除外：期間中であっても、下記の場合には適応いたしません。

（1）純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。

（2）使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。

（3）製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液剤を使用されて生じた故障。

（4）弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。

（5）製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。

（6）パッキン、O リングなどの消耗部品の摩耗。

（7）お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。

（8）火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。

（9）不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、
指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用した場合に発生した故障。

（10）定格値を超える電源にて使用された事により発生した故障及び損傷。

（11）過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適当な油脂を使用された場合の故障。

（12）日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類

4. 補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後５年とさせていただきます。製造打ち切り後５年を経過したものにつきましては、提供いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

製品に対するお問い合わせは、下記営業所にお願い致します。

株式会社 ヤマダコーポレーション

本社・営業部	〒143-8504 東京都大田区南馬込１丁目１番３号	TEL (03) 3777-4101 (代)	FAX (03) 3777-3328
札幌営業所	〒062-0002 札幌市豊平区美園二条６丁目３番16号	TEL (011) 821-0630 (代)	FAX (011) 821-0949
仙台営業所	〒981-3137 宮城県仙台市泉区大沢２丁目２番３号	TEL (022) 343-9410 (代)	FAX (022) 343-9411
東京営業所	〒143-8504 東京都大田区南馬込１丁目１番３号	TEL (03) 3777-3171 (代)	FAX (03) 3777-6770
名古屋営業所	〒463-0052 名古屋市守山区小幡宮ノ腰７番38号	TEL (052) 795-0222 (代)	FAX (052) 795-0444
大阪営業所	〒537-0025 大阪市東成区中道３丁目15番２号	TEL (06) 6971-5301 (代)	FAX (06) 6974-0497
広島営業所	〒731-5128 広島市佐伯区五日市中央３丁目３番９号	TEL (082) 275-5852 (代)	FAX (082) 275-5853
福岡営業所	〒812-0888 福岡市博多区板付５丁目18番14号	TEL (092) 581-5477 (代)	FAX (092) 581-6524

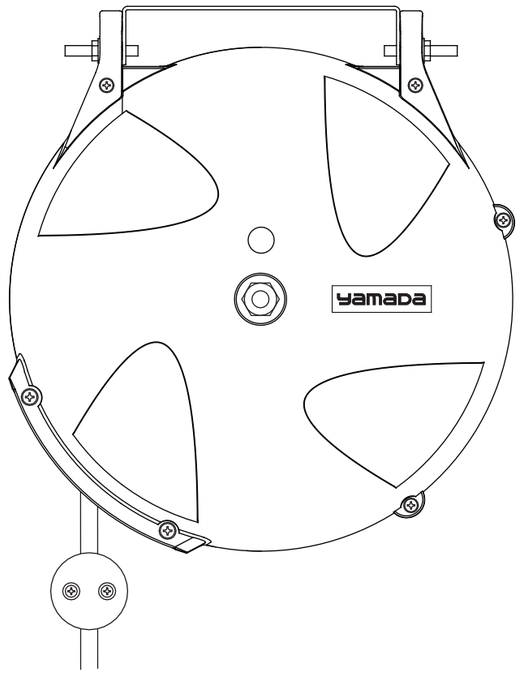
2014.03

yamada

Doc.No. HRS 019U-00

取扱説明書

エアリール



型式

686608 YR-2A10
686609 YR-2A10S

INDEX

はじめに	2
安全上のご注意	2-3
製品内容の確認	4
各部の名称と役割	5
エアリール仕様	5
設置方法	6-7
ご使用方法	8-9
メンテナンス	10
故障と処置	11
保証規定	12

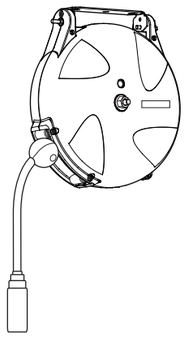
⚠警告

安全のため、本製品のご使用の前には必ずこの取扱説明書を良く熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

はじめに

このエアリール取扱説明書では、ご使用にあたって注意していただきたいことや、基本的な使い方、および、より有効に活用する方法を、説明しています。エアリールを正しくご使用いただくためにも、この取扱説明書をよくお読みください。読み終わった後は、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。



警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、破裂･破損などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、破裂やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止　最高使用圧力を守る

行為を指示する記号

指示　取扱説明書を読む　保護メガネを着用

本製品を正しく安全 にご使用いただくために

⚠ 警告

当社の製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、破裂や破損などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

■安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。 製品全般の注意事項が記載されています。

■故障したら使わない

すぐに使用を中止し、お買い求めの販売会社に修理をご依頼ください。

■万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、製品や付属品が破損したとき

➡

❶工具や機器を安全に外す。
❷リールへのエア供給を止める。
❸使用を中止して、お買い求めの販売会社に修理をご依頼ください。
❹修復を完全に行うまでリールのご使用を中止してください。

安全上のご注意

⚠ 警告　⚠ 注意 下記の注意事項を守らないと破裂･破損などにより死亡や大けがの原因となります。

■取扱説明書をよく読み理解したうえで使用する

誤使用により、思わぬ事故の可能性があります。

取扱説明書を読む

■本機は屋内仕様です

屋外で使用しないでください。さびや腐食などで火災や故障の原因となることがあります

指示

■子供や幼児の届かない場所に設置する

ケガや事故の原因となります。

禁止

■水･油･薬品などは使用しない

このリールは、圧縮空気をエア工具へ供給するために使用するエアリールです。エア以外供給しないでください。故障や異常動作の原因となることがあります

禁止

■油煙、湯気、湿気、水気、ほこりの多い場所や高温になる場所には設置しない

禁止

上記のような場所に設置すると、故障や破損、けがの原因となることがあります。

■ホースを傷つけない

禁止

ホースを傷つけると、破裂やけがの原因となることがあります。

- ホースを加工したり、傷つけたりしない。
- ホースを無理に折り曲げたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ホースを接続した機器から抜くときは、安全に注意してください。

万一、ホースが傷んだら、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売会社に交換をご依頼ください。

■内部に水、オイルや異物を入れない 外装に水、オイルや異物を付着させない

禁止

内部に水や異物が入ったり、外装に水や塗装ミストなどの異物が付着すると故障の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに接続された機器を外して、お買い求めの販売会社に点検･修理をご依頼ください。

■分解、改造および修理技術者以外による修理はしない

分解禁止

内部には空気圧の高い部分があり、本体をむやみに開けたり改造したりすると、故障や異常動作の原因となることがあります。

製品には強力なゼンマイが内蔵されています。部品等が弾けて、けがをするおそれがあります。

内部の点検、修理はお買い求めの販売会社にご依頼ください。

■必ず仕様を守り、最高使用圧力を超えて使用しない

最高使用圧力を守る

製品の仕様をご確認のうえ、ご使用ください。リール本体、ホースおよび接続された機器が破裂や故障するおそれがあります。

接続された機器が正しく動作しない場合があります。

■不安定な場所に設置しない

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取付場所の強度も十分にお確かめください。

■直接日光の当たる場所や熱器具近くに設置・保管しない

禁止

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。

■作業時は保護メガネをかけて作業してください

保護メガネを着用

加圧されたエアでホコリやゴミが吹き上がり、眼に入ることがあります。

■警告ラベルは大切に使用してください

指示

はがれや汚損、劣化した場合はお買い求めの販売会社からご購入のうえ、正しく貼付してください。

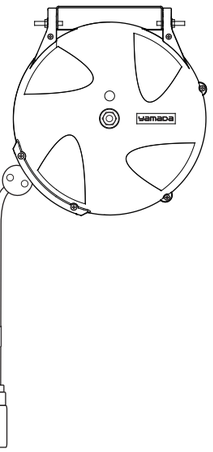
製品内容の確認

箱の中に同梱品（本体、付属品）がすべて揃っているか確認してください。

☑チェックすると便利です。

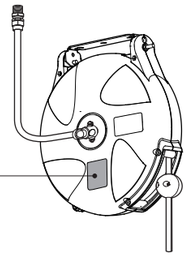
●本体

□ 本体



□ 警告ラベル
（ホース部）

□ 警告ラベル
（本体裏面）

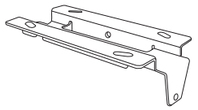


●付属品

□取扱説明書

1冊

□取付ベース



1個

□スプリングナット
（M6）

4個

□十字穴付ナベ小ネジ
（M6×20mm）

4個

□スプリングワッシャー
（M6）

1個

□蝶ナット
（M6）

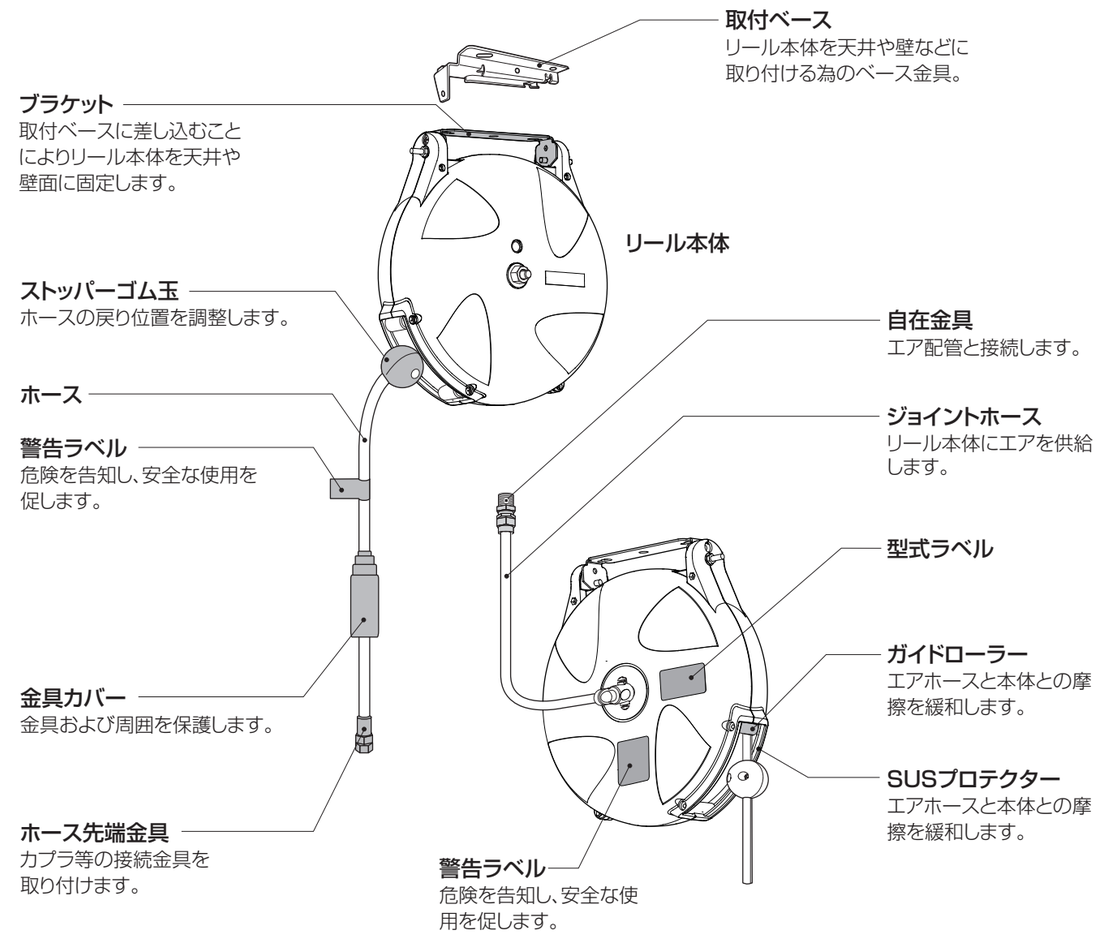
1個

⚠注意

■お手元に届きました製品は、付属品を除き、完全に組み立てられています。取り付け前にリール本体の仕様と損傷の有無、付属品の欠品の有無を確認してください。

■警告ラベルは大切に使用してください。はがれや汚損、劣化した場合はお買い求めの販売会社からご購入のうえ、正しく貼付してください。

各部の名称と役割



■エアリール仕様

製品名	エアリール	耐スパッタリール
型式	686608　YR-2A10	686609　YR-2A10S
使用流体	エア	
リール設置場所	屋内	
使用ホース	ウレタンブレードホース	耐スパッタホース
ホース内径（mm）	6.5	6.5
ホース全長（m）	10.0	10.0
先端金具	G1／4（Oリング付）	G1／4（Oリング付）
ジョイントホース	接続形状:自在R1／4　長さ:1.0m	接続形状:自在R1／4　長さ:0.8m (注1)
最高使用圧力	1.4MPa	
使用温度範囲	−5℃〜+50℃	
本体重量（kg）	3.5	
標準付属品	取付ベース板一式	

※改良のため仕様など予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
注1:耐スパッタリールのジョイントホースはウレタンブレードホースです。

設置方法

この項の設置方法は、リール取付および、エア接続を行う工事会社の方を対象にしています。

■設置に必要な道具

●高所作業リフトまたは安定した足場
●モンキーレンチ　●スパナ（10mm）
●プラスドライバー　●シールテープ

⚠ 警告　⚠ 注意　下記の注意事項を守らないと破裂や破損などにより死亡や大けがの原因となります。

■組立･設置の際、作業者が取るべき安全対策を徹底してください

- リールの取り付けが高所作業になる場合は、必ず安全ヘルメットを着用し、落下防止の安全帯を使用してください。
- リールの取り付けにハシゴや脚立の使用はしないでください。必ず安全に作業できる高所作業リフトや足場を設置してください。リールおよび作業工具の落下防止を図ると共に、作業中は取付場所の真下への立ち入りを禁止してください。

■設置（据付）および移設について

- 本製品の設置（据付）および移設はお買い求めの販売会社へご依頼ください。移設の場合は販売会社による点検を実施してください。
- 設置場所は十分な強度を確保し、落下・揺れなどがないよう十分考慮してください。
- 取付場所付近までエア配管等の施工を行ってください。施工は、ジョイントホースの長さ･接続金具のサイズを5ページの「仕様」でご確認いただいた上で、ホースに余裕ができる位置にお願いいたします。
- 接続部分にはバルブ等エアを閉じることができる仕様を推奨いたします。

■不適当な組立･設置についての警告

- ジョイントホースは、エア配管等に確実に締め込んでください。
- 接続が不十分だと、エア漏れやホース抜けにより接続機器の異常動作の原因となります。
- 取付ベースにリールを差し込み後は、必ず付属のスプリングワッシャーと蝶ナットでリールを固定してください。
- リールの固定を忘れると、リールの落下など重大な事故の原因となります。

■エアについての警告

- 最高使用圧力以上の圧縮空気を接続しないでください。破損したり、事故の原因となります。

■揮発性可燃物の近くには設置しない

- 冬期乾燥時期等に、ホース摩擦により静電気が発生し、火災の原因となる恐れがあります。

■本機接続前に必ずエア配管内の清掃を行ってください

- ホース等の損傷または配管内のゴミによって、ケガ等の恐れがあります。

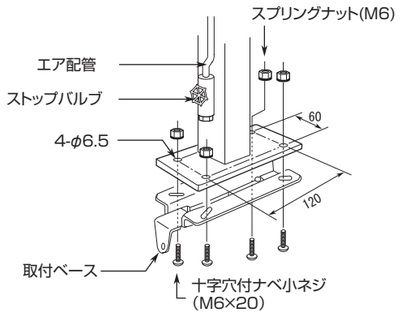
■供給エアは水分を除去したエアを使用してください

- 水分によりホース等の劣化を早めます。

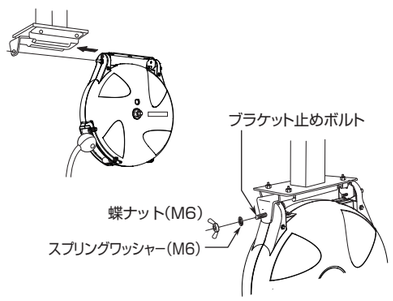
■天井取付の場合

●記載された取付場所およびエア接続方法は一例です。

1. 付属の取付ベースを取付場所に固定するときは、十分な強度を確保し、落下しないよう確実に固定してください。

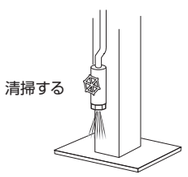


2. 取付ベースを固定した後、下図のようにリールを取付ベースに差し込み、取付ベースから出た先端のブラケット止めボルトに付属品のスプリングワッシャー（M6）を入れ、蝶ナット（M6）で確実に締め込んでください。

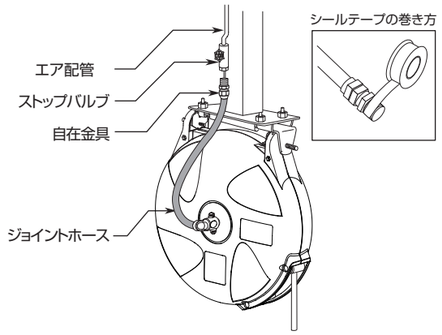


■固定した後は、しっかりと固定できているかを再度確認してください。

3. ジョイントホースを接続する前に、必ずエア配管内の清掃を行い、エア配管内部の異物を取り除いてからホースを接続してください。

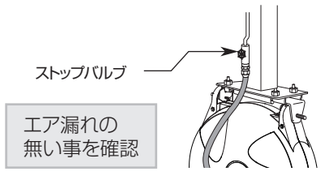


4. リールを確実に固定してから、ジョイントホース先端の自在金具をエア配管に接続してください。



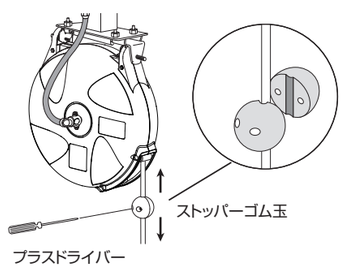
■自在金具は必ずシールテープを上図のように巻いて締め付けてください。

5. ホース先端金具にカプラ等の接続金具を取り付け後、エアを供給してください。エア漏れがないかどうか確認し、漏れがあった場合には、直ちにエア供給を切り、各接続部を点検してください。



エア漏れの無い事を確認

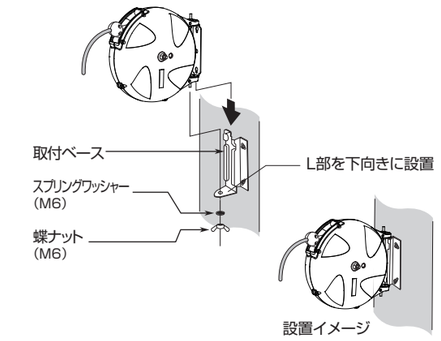
6. 最後に、ストッパーゴム玉を使用状況に合わせて調整します。ストッパーゴム玉の固定ビスをゆるめ、希望する長さの位置にストッパーゴム玉を移動して調整してください。その後ゆっくりと全引き出し/全戻しを行い、動作に問題がないか確認してください。これで取付完了です。



■壁面取付の場合

●記載された取付場所は一例です 。

付属の取付ベースを取付場所に固定するときは、十分な強度を確保し、落下しないよう確実に固定してください。（L部を下向き）

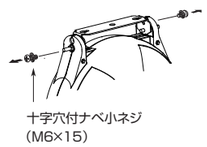


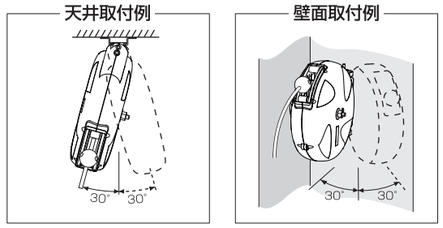
■取付ベースを壁面に取り付け、リールを差し込んで付属のスプリングワッシャー（M6）および蝶ナット（M6）で確実に固定してください。

以下「天井取付の場合」の**3.4.5.6.**を参照してください。

■首振りの場合

リールの首振りを使用する場合は、本体ブラケット上部の十字穴付ナベ小ネジ（M6×15）2本を外してください。





■首振りさせた際、ジョイントホースが引っ張られないよう余裕をもって接続してください。

■首振りの際、本体が壁や設備、人などに当たらないようにしてください。

壁面取付で、低い位置に設置されている場合などは、首振りが便利です。

ご使用方法

⚠ 警告

⚠ 注意　**下記の注意事項を守らないと事故・火災などにより死亡や大けがの原因となります。**

■始業点検および終業点検を説明書の本文に従って必ず実施してください

特にホースの損傷・キズ・変形・摩耗および汚れがないことを確認してください。

■エアリールをエア供給以外の目的に使用しないでください

目的以外の使用は、本体の破損や故障の原因になり、けがや施設・設備等の損傷をまねくおそれがあります。

■ホースには絶対ぶらさがらないでください

リールの落下、本体の破損や故障の原因になり、けがや設備等の破損をまねくおそれがあります。

■ホース出口の中には絶対に手をいれないでください

大けがをするおそれがあります。

■メンテナンスを行ってください

日常のお手入れや定期点検を行ってください。

■ホースに負荷のかかる使用は避けてください

本体やホース破損や故障の原因になります。

■最高使用圧力を超えて使用しないでください

本製品の最高使用圧力は1.4MPaです。

■その他の注意

使用方法などで不明な点のある場合は、使用を中止し、お買い求めの販売会社へお問い合せください。

また、リール本体やホースに異常が見られる場合は使用を中止してください。

■下記の点に留意し安全な作業をお願いします

1. 始業点検

毎日、作業前に必ず始業点検を行ってください。

点検箇所	内容	点検方法
ホース	エアの漏れはないか	聴取
	変形・破損・摩耗はないか	目視
	汚れ(水・油・泥)はないか	目視／掃除
	引き出し・巻き取りはスムーズか	目視
接続金具	エアの漏れはないか	聴取
	変形・破損・摩耗はないか	目視
	汚れ(水・油・泥)はないか	目視／掃除

⚠ 警告　異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行うまでリールの使用を中止して直ちにお買い求めの販売会社に連絡してください。そのままお使いになるとリールの破損および重大な事故につながる危険性があります。

2. 終業点検

作業が終了したら、ホースや接続金具・カプラに付着した汚れ(水・ゴミ・油など)をきれいに拭きとってください。この時何か異常が発見された場合、直ちにお買い求めの販売会社に連絡してください。

作業終了後は、供給側配管のバルブまたは元栓を閉じ、リール内の残圧を全て無くして終業してください。

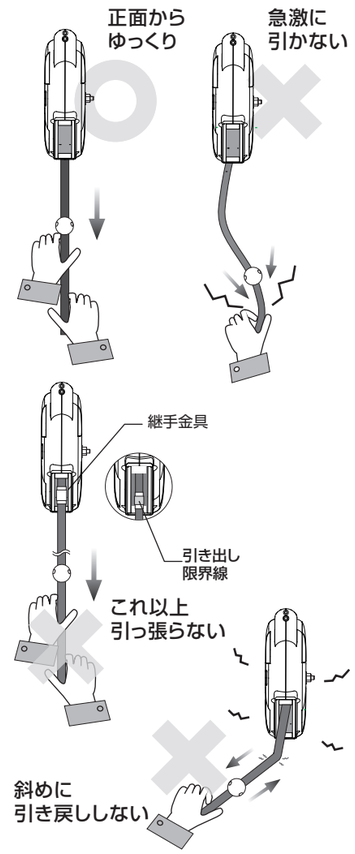
3. 引き出し操作

ホース出口に対し正面に立ち、両手でホースを掴んで希望する長さまでホースをゆっくり引き出します。ロックがかかったことを確認してから手を離し、使用してください。

もしその位置でロックがかからない場合には、さらに6～40cmゆっくりとホースを引き出してください。ロックがかかります。

⚠ 注意

- ■ホースを引き出す際には、必ずリール正面から静かに引き出してください。リール横方向に引くと本体に負荷がかかり、ホースやリール取付部が破損し落下するおそれがあります。
- ■継手金具(または引き出し限界線)以上はホースを引き出さないでください。※強く引かなくてもロックは外れます。(継手金具については10ページ参照)
- ■最後まで急激な勢いで引き出すと、内部ドラムが必要以上に回転し、リールがロック状態になり巻き戻しができなくなります。
- ■ホース先端金具や、ホース先端に取り付けた器具を引っ張らないでください。ホースの折れ曲がりや、器具破損の原因にもなります。また、折り曲げた状態での引き出し操作は行わないでください。
- ■使用中、ホースによるつまずき、からまりに注意してください。

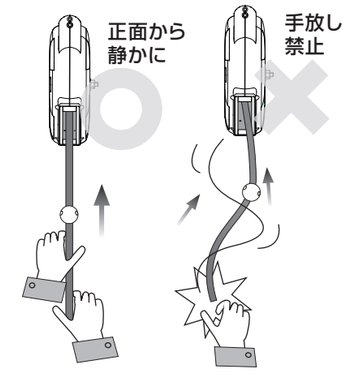


4. 巻き戻し操作

使用後、ホースを巻き戻す時は、ホース出口に対し正面に立ち、両手でホースを掴み、再び6～40cmゆっくり引き出します。ロックが外れたら、ホースに手を添えて送り込むように、ゆっくり巻き戻してください。

⚠ 注意

- ■急激にホースを巻き戻すと体や物に当たり、けがや破損事故の原因となります。
- ■急激にホースを巻き戻すと、ホースの乱巻きの原因になります。
- ■ホースを巻き戻す際には、必ずリール正面から静かに巻き戻してください。リール横方向から戻すと、ホース先端が体や物に当たり、けがや破損事故の原因となります。



5. その他の注意

⚠ 注意　**■リール本体やホースの破損、落下、故障のおそれがあります。下記のような使用は絶対に避けてください。**

- ○ホースを急激に曲げない。
- ○ホースを急激に引っ張らない。
- ○ホースを高温・高熱の物に近づけない。
- ○ホースを工具や設備等で挟まない。
- ○ホースを車両や重量物の下敷きにしない。
- ○ホースおよび本体に水やオイル、床洗浄剤、塗装ミストなどを付着させない。
- ○本体に衝撃を与えない。

メンテナンス

■日常のお手入れ

○定期的にリール本体の損傷、固定や接続の緩みがないか点検してください。

○ホース ・接続金具 ・カプラ等に汚れ(水、ゴミ、油など)が付着した場合は、きれいに拭き取ってください。

○パーツクリーナー等、脱脂作用のあるスプレーなどで、拭き取らないでください。ホース表面の変化により乱巻きや劣化の原因となる場合があります。

○使用中、ホースが引き出しにくい、または戻りにくい場合、レザー系ワックススプレーまたはシリコン系スプレー等の潤滑剤をホースに薄く塗布していただくとスムーズになる場合があります。

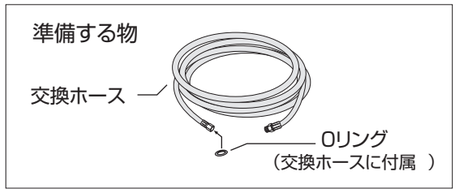
○作業前 / 作業後にホースの点検を行い、局部的な伸び、膨れ、湾曲、キズ、ひび割れ、硬化などがあった場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売会社にご連絡ください。

■定期点検　専門家による定期点検のおすすめ

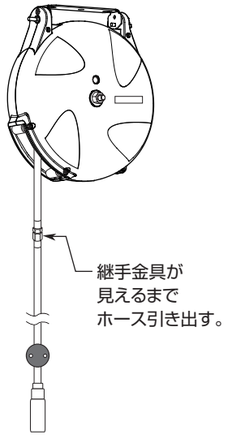
○定期点検については、別途専門家による点検の制度がありますので、ぜひご利用くださるようおすすめします。詳しくはお買い求めの販売会社へご相談ください。

ラクラク継手(継手方式)のホース交換方法

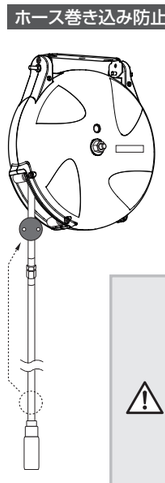
本製品は、ホース交換を容易にするため、継手方式を採用しています。ホースの交換をカンタンに行えます。



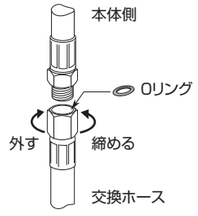
1. 作業をはじめる前に、**必ずエアを止め、残圧を**抜いてから作業を行ってください。



2. ストッパーゴム玉を継手より本体側に移動する。



3. 古いホースを外しOリングとホースを交換する。



4. ホース先端金具にカプラ等を取り付けてからエアを供給してください。引き出し、巻き戻し動作を行ったうえで、エア漏れがないか確認してください。作業後は点検を行ってください。

⚠ 警告

■ホース交換時は、エアを止めてリール内の残圧を抜いてから作業してください。

■力の入れ過ぎによる締め込み過ぎに注意してください。Oリングや金具が破損し、エア漏れや抜けの原因になる場合があります。

■継手金具内のOリングを紛失させないでください。

■ストッパーゴム玉の移動を怠るとホース部が本体に巻き込み、ゼンマイの故障の原因になります。

■リール側根元部分が使用環境で摩擦や劣化した場合、専門家による根元部分の交換を行ってください。

故障と処置

故障かなと思われる前にもう一度確認してください。異常が生じたときはこの取扱説明書をよくお読みいただき、下記の点検を行ったうえで、それでも改善されない場合はお買い求めの販売会社へご相談ください。

症　状	原　因	処　置
エアが出ない	コンプレッサーが運転していない	コンプレッサーの電源をいれる
	ストップバルブが閉じている	ストップバルブを開ける
エア圧力が低い	供給される圧力が弱い	エア圧力を指定圧力にする
	ゴミづまり	接続金具部を調べる
	接続カプラの不良	カプラの交換 販売会社へご相談ください
エア漏れ	ホースの破損	ホースの交換 販売会社へご相談ください
	内部Oリングの摩耗	Oリングの交換 販売会社へご相談ください
	接続カプラの不良	カプラの交換 販売会社へご相談ください
ホースが出てこない	ラチェットの破損	販売会社へご相談ください
ホースが巻き戻らない	ホースの乱巻き	ホースを全て引き出し、 手を添えてゆっくり巻き戻す
	ホースの引き出し過ぎによるラチェットの引っ掛かり	販売会社へご相談ください
	ゼンマイの破損	販売会社へご相談ください
ホースが止まらない	ラチェットの破損	販売会社へご相談ください